

寒川町自殺対策計画進捗確認シート（重点施策）

計画における項目	実施内容	計画書 ページ	担当部署	担当課	再掲	令和4年度実施状況	令和4年度 実施状況に関する担当課の評価	令和5年度実施計画
<b>重点施策（1） 高齢者に対する支援</b>								
(1)-1 高齢者生きがいづくり等支援事業	シニアクラブの会員相互の親睦や地域での生きがいと健康づくりの推進のため、シニアクラブ連合会及び各シニアクラブの活動の活性化を支援します。	P.26	健康福祉部	高齢介護課	○	補助金交付により、クラブ活動を活性化させ、クラブ会員の親睦と連携の強化を図り、活動に参加することで自らの老後を健全で豊かなものとし、健康の保持・増進を図ることを支援した。	補助金を交付し、シニアクラブの運営協力を実施し、活性化に努めた。	コロナ禍による活動の制限等により、会員の減少がみられるが、協力を強化し、会員数の増加を図り、高齢者が入会したくなるような魅力ある組織としていく。
(1)-2 介護予防事業	高齢者の生活の質の向上を図るため、高齢者の心身機能の改善や閉じこもり・うつ予防の支援、社会参加を促すための各種介護予防事業を実施します。	P.26	健康福祉部	高齢介護課	○	新型コロナウイルス感染症対策を施しつつ介護予防活動を再開させた。休止していた通いの場等も活動を再開し、参加者や開催回数の増へと繋がった。	新規参加者獲得の為、開催曜日の変更を行い参加者の12%ほどが新規の参加者となった事業もあった。地域の通いの場に訪問し、フレイル予防に努めたことで高齢者の介護予防を図ることができた。	在宅版の元気はっけん広場を継続するとともに、感染対策を十分に行いながら、集合版の元気はっけん教室や講師派遣事業、高齢者健康トレーニング教室を開催する。
(1)-3 地域包括支援センターの運営	高齢者の日常生活に関する相談を受け、必要な保健福祉サービスの利用調整などの支援をするとともに、地域の関係機関と連携し、安心して暮らせるよう、支援体制の構築を行います。	P.27	健康福祉部	高齢介護課	○	高齢者のあらゆる相談窓口として問い合わせに対応するとともに、相談内容に応じて適切な機関、制度、サービスを紹介し、連絡調整を行った。 また専門的、継続的な関与又は緊急の対応が必要と判断した場合は、より詳細な情報収集を行い、個別の支援計画を作成し、適切なサービスや制度につなぎ、定期的にその後の状況把握を行い、随時必要な支援につなげた。相談対応件数8,828件	様々なニーズに対し、十分な対応が出来た。	前年同様継続
(1)-4 介護保険制度の運営	要介護・要支援認定の調査を実施する中で、見守り体制づくりを推進します。	P.27	健康福祉部	高齢介護課		認定調査員から、うつ状態や介護疲れがみられた高齢者や介護家族の報告をうけた職員が早期に地域包括支援センターや担当ケアマネージャーと連携をし、支援できるように対応した。	認定調査員からの報告が速やかにされ、早期の対応を図ることができた。	前年同様継続
(1)-5 家族介護者への支援	高齢者を介護している家族の身体的精神的負担の軽減を図るために、介護方法や介護予防、健康づくり等における知識・技術の習得の場として「家族介護教室」を開催します。	P.27	健康福祉部	高齢介護課		令和5年3月24日開催、12名参加（男性4名、女8名）。介護予防及び終末期について、男女問わず考えるきっかけとなるような内容が展開された。今後も取り上げるべきテーマやトピックを充分検討のうえ開催していく。	○家族介護教室 これまでコロナ禍において開催を見送ってきたが、講師の協力も得て感染対策を講じ開催に至った。	開催を継続（開催時期、内容は未定。）
<b>重点施策（2） 高齢者の地域支援体制の強化</b>								
(2)-1 ゲートキーパー養成研修	自殺に気持ちが傾いた人のサインに気づき、対応できる人材の養成研修を実施します。	P.27	町民部	町民窓口課	○	年2回実施（4月4名の職員、11月10名の町地域活動支援センター職員等参加）	新採用職員及び関係機関等職員を対象にゲートキーパー研修を開催し、自殺対策を支える人材養成ができた。	実施を継続する。長引くコロナ禍において、Zoomなどのオンライン利用についても検討する。